



号外第7号
平成27年8月31日

発行所
広島市役所
(企画総務局法務課)

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

公営企業の業務状況の報告

公 告

平成27年8月4日

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき、広島市水道事業、広島市下水道事業及び広島市安芸市民病院事業の業務の状況を次のとおり公表します。

広島市長 松井 一 實

目 次

○平成26年度第2回広島市水道事業の業務状況	1
○平成26年度第2回広島市下水道事業の業務状況	6
○平成26年度第2回広島市安芸市民病院事業の業務状況	11

平成26年度第2回広島市水道事業の業務状況

1 事業の概況

平成26年度下半期（平成26年10月1日から平成27年3月31日まで）における水道事業の概況は、次のとおりです。

(1) 給水の状況

ア 給水戸数及び給水人口

今期における給水戸数は55万9,421戸、給水人口は122万2,788人で、これを前年同期と比較すると、給水戸数では4,866戸（0.9%）の増加、給水人口では3,106人（0.3%）の増加となっています。

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	下 半 期	下 半 期	下 半 期	下 半 期	増 △ 減	増減率(%)
給水戸数	戸	559,421	554,555		4,866	0.9
給水区域内人口(A)	人	1,248,523	1,246,359		2,164	0.2
給水人口(B)	人	1,222,788	1,219,682		3,106	0.3
普及率(B/A)	%	97.9	97.9		0.0ポイント	-

イ 給水量

今期の給水量は6,727万3,227立方メートル、一日最大給水量は39万1,939立方メートルで、前年同期と比較すると、給水量では8万5,998立方メートル（0.1%）の減少、一日最大給水量では1,495立方メートル（0.4%）の増加となっています。

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	下 半 期	下 半 期	下 半 期	下 半 期	増 △ 減	増減率(%)
給水量	m ³	67,273,227	67,359,225		△85,998	△0.1
一日平均給水量	m ³	369,633	370,106		△473	△0.1
一日最大給水量	m ³	391,939	390,444		1,495	0.4

(2) 主要施策の実施状況

ア 安全でおいしい水の供給

水道水源の保全として事業費1,223万1,954円で、水源涵養林の整備、啓発活動を行いました。

環境負荷の低減として事業費1億2,440万1,401円で、漏水防止調査等を行いました。

水質管理体制の強化として事業費2億3,000万7,601円で、水質検査機器、残留塩素計の整備及び湯来地区簡易水道事業の再編成等を行いました。

安心な水道の普及促進として事業費4億549万3,594円で、6,563メートルの配水管布設や水道施設の整備等を行いました。

事業内容	平成26年度事業費(実績)	うち今期事業費
安全でおいしい水の供給	772,134,550 円	387,151,768 円
水道水源の保全	12,231,954	10,817,954
水源涵養モデル事業の推進	10,817,954	10,817,954
流域自治体との連携等	1,414,000	0
環境負荷の低減	124,401,401	39,249,352
省エネルギーの推進	51,999,723	38,121,723
水の有効利用	72,401,678	1,127,629
水質管理体制の強化	230,007,601	143,784,714
水質検査体制の強化	18,137,622	4,270,422
残留塩素濃度の低減	24,967,428	22,867,477
水質監視・保安体制の確保	186,902,551	116,646,815
安心な水道の普及促進	405,493,594	193,299,748
直結給水化の促進等	129,000	129,000
水道の普及	405,364,594	193,170,748

イ 基幹施設の更新・改良

取水・浄水・配水施設の更新・改良として事業費18億7,485万8,956円で、施設の統廃合の関連整備や配水池の更新等を行いました。

配水管路の更新として事業費22億886万5,051円で、26,050メートルの铸铁管・ビニル管等の更新を行いました。

事業内容	平成26年度事業費(実績)	うち今期事業費
基幹施設の更新・改良	4,083,724,007	1,022,786,747
取水・浄水・配水施設の更新・改良	1,874,858,956	364,982,331
浄水・配水施設の統廃合の関連整備等	629,995,566	0
構造物の更新・改良	410,256,736	0
機械及び電気設備の更新・改良	834,606,654	364,982,331
配水管路の更新	2,208,865,051	657,804,416

ウ 災害対策の充実

施設の耐震化として事業費3億1,550万3,871円で、浄水場の耐震改修等を行いました。

バックアップ機能の強化として事業費4億5,394万5,147円で、相互連絡管の整備等を行いました。

応急給水対策の推進として事業費1,365万3,144円で、仮設水槽等の応急給水用資器材の整備を行いました。

ア 収入

区分	平成26年度		執行率	平成25年度	比較	
	最終予算額	決算額		決算額	増△減	増減率
水道事業収益(A)	26,185,496,000	26,197,363,930	100.0	24,164,606,764	2,032,757,166	8.4
営業収益	22,474,623,000	22,301,742,929	99.2	22,655,599,587	△ 353,856,658	△ 1.6
給水収益	20,729,405,000	20,603,157,714	99.4	20,537,493,482	65,664,232	0.3
受託工事収益	211,587,000	185,332,506	87.6	633,903,832	△ 448,571,326	△ 70.8
その他の営業収益	1,533,631,000	1,513,252,709	98.7	1,484,202,273	29,050,436	2.0
営業外収益	3,636,414,000	3,652,858,183	100.5	1,505,043,373	2,147,814,810	142.7
特別利益	74,459,000	242,762,818	326.0	3,963,804	238,799,014	6,024.5

イ 支出

区分	平成26年度		執行率	平成25年度	比較	
	最終予算額	決算額		決算額	増△減	増減率
水道事業費用(B)	31,100,268,000	30,122,776,153	96.9	22,569,604,017	7,553,172,136	33.5
営業費用	21,152,064,000	20,321,282,344	96.1	20,111,230,293	210,052,051	1.0
職員給与費	5,020,976,000	4,884,326,168	97.3	5,304,382,317	△ 420,056,149	△ 7.9
受水費	2,194,863,824	2,194,863,824	100.0	2,394,441,435	△ 199,577,611	△ 8.3
動力費	1,162,509,109	1,159,296,938	99.7	1,089,555,415	69,741,523	6.4
減価償却費	8,041,615,000	8,120,090,788	101.0	7,044,533,416	1,075,557,372	15.3
その他	4,732,100,067	3,962,704,626	83.7	4,278,317,710	△ 315,613,084	△ 7.4
営業外費用	2,688,355,000	2,620,435,556	97.5	2,406,573,176	213,862,380	8.9
支払利息及び企業債取扱諸費	1,964,548,000	1,915,311,179	97.5	1,941,839,322	△ 26,528,143	△ 1.4
その他	723,807,000	705,124,377	97.4	464,733,854	240,390,523	51.7
特別損失	7,249,849,000	7,181,058,253	99.1	51,800,548	7,129,257,705	13,762.9
予備費	10,000,000	0	0.0	0	0	-

事業内容		平成26年度事業費(実績)	うち今期事業費
災害対策の充実		783,102,162	43,116,040
施設の耐震化	耐震改修工事, 耐震診断業務	315,503,871	10,064,924
バックアップ機能の強化	相互連絡管(広島南配水幹線ほか)の整備等	453,945,147	19,397,972
応急給水対策の推進	応急給水用資器材の整備	13,653,144	13,653,144

2 経理の状況

平成26年度の経理の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入である水道事業収益は、261億9,736万3,930円で、前年度と比較すると20億3,275万7,166円(8.4%)の増加となっています。

この主な理由は、長期前受金戻入の計上に伴う営業外収益の増加によるものです。

また、収益的支出である水道事業費用は、301億2,277万6,153円で、前年度と比較すると75億5,317万2,136円(33.5%)の増加となっています。

収支差引は39億2,541万2,223円の不足となり、消費税計算によって生ずる消費税及び地方消費税資本的収支調整額等3億9,799万7,810円を差し引くと、本年度は43億2,341万33円の純損失となっています。

この主な理由は、退職給付引当金の計上に伴う特別損失の増加によるものです。

収支差引(C)=(A)-(B)	円	円	%	円	円	%
	△ 4,914,772,000	△3,925,412,223	79.9	1,595,002,747	△ 5,520,414,970	△ 346.1
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額等(D)	346,287,000	397,997,810	114.9	269,690,826	128,306,984	47.6
純損益(C)-(D)	△ 5,261,059,000	△4,323,410,033	82.2	1,325,311,921	△ 5,648,721,954	△ 426.2

(2) 資本的収入及び支出

本年度の資本的収入は、43億4,653万7977円で、前年度と比較すると3億8,446万2,627円(8.1%)の減少となっています。

また、資本的支出は、127億7,931万2577円で、

前年度と比較すると2億3,163万1,591円(1.8%)の減少となっています。

なお、補填額84億3,277万9,460円は、当年度分損益勘定留保資金等で措置しています。

ア 収入

区 分	平成26年度		執行率	平成25年度	比 較	
	最終予算額	決算額		決算額	増 △ 減	増減率
資本的収入(E)	円 7,086,889,000	円 4,346,530,797	% 61.3	円 4,730,993,424	円 △ 384,462,627	% △ 8.1
企業債	4,993,500,000	2,921,900,000	58.5	2,755,500,000	166,400,000	6.0
出資金	524,169,000	300,780,987	57.4	885,872,681	△ 585,091,694	△ 66.0
補助金	35,466,000	35,466,000	100.0	85,473,000	△ 50,007,000	△ 58.5
受託建設収入	1,288,580,000	913,544,747	70.9	885,690,145	27,854,602	3.1
工事負担金	204,810,000	128,535,560	62.8	117,597,828	10,937,732	9.3
固定資産売却代金	2,504,000	8,395,974	335.3	859,770	7,536,204	876.5
貸付金返還金	15,000,000	15,000,000	100.0	0	15,000,000	皆増
その他資本的収入	22,860,000	22,907,529	100.2	0	22,907,529	皆増

補 填 額(F)	円	円	%	円	円	%
	8,954,922,000	8,432,779,460	94.2	8,279,948,424	152,831,036	1.8
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	234,956,000	304,043,712	129.4	210,919,870	93,123,842	44.2
建設改良積立金	1,518,829,000	953,478,037	62.8	762,163,418	191,314,619	25.1
減債積立金	424,946,000	424,946,000	100.0	0	424,946,000	皆増
当年度分損益勘定留保資金	6,577,283,000	6,575,311,711	100.0	7,306,865,136	△ 731,553,425	△ 10.0
同意済企業債未発行分	0	175,000,000	-	0	175,000,000	皆増
予算繰越額	198,908,000	0	0.0	0	0	-
前年度財源充当額(G)	0	0	-	0	0	-
計 (E)+(F)-(G)	16,041,811,000	12,779,310,257	79.7	13,010,941,848	△ 231,631,591	△ 1.8

イ 支出

区 分	平成26年度		執行率	平成25年度	比 較	
	最終予算額	決算額		決算額	増 △ 減	増減率
資本的支出(H)	円 16,041,811,000	円 12,779,310,257	% 79.7	円 13,010,941,848	円 △ 231,631,591	% △ 1.8
建設改良費	10,023,171,000	6,802,427,607	67.9	7,120,373,042	△ 317,945,435	△ 4.5
第7期拡張費(Ⅲ期)	196,534,000	154,607,635	78.7	278,371,651	△ 123,764,016	△ 44.5
配水施設整備費	6,779,304,000	4,623,786,855	68.2	4,736,766,764	△ 112,979,909	△ 2.4
浄水施設整備費	1,569,813,000	949,102,436	60.5	1,132,412,495	△ 183,310,059	△ 16.2
受託建設費	1,247,154,000	915,958,790	73.4	874,557,406	41,401,384	4.7
諸設備新設費等	230,366,000	158,971,891	69.0	98,264,726	60,707,165	61.8
企業債償還金	6,007,892,000	5,973,549,032	99.4	5,885,963,511	87,585,521	1.5
補助金返還金	10,748,000	3,333,618	31.0	4,605,295	△ 1,271,677	△ 27.6

3 資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高

平成27年3月31日現在の資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高は、次のとおりです。

(1) 資産

ア 固定資産 219,382,010,345円
イ 流動資産 13,959,713,034円

計 233,341,723,379円

(2) 企業債 78,799,182,352円

(3) 長期借入金 0円

(借入れなし。)

(4) 一時借入金 0円

(借入れなし。)

4 平成27年度予算の概要

水道局では、平成26年度から平成29年度までの4年間の「広島市水道事業中期経営計画」を策定し、その中で「安全でおいしい水の供給」、「基幹施設の更新・改良」及び「災害対策の充実」を主要施策として事業を推進しています。

「安全でおいしい水の供給」では、水道水源の保全、環境負荷の低減、水質管理体制の強化及び安心な水道の普及促進に取り組めます。

「基幹施設の更新・改良」では、取水・浄水・配水施設の更新・改良及び配水管路の更新を計画的に実施します。

「災害対策の充実」では、施設の耐震化、バックアップ機能の強化及び応急給水対策の推進に取り組めます。

将来にわたって持続可能な水道システムの構築に向けて、これら主要施策を着実に推進し、安全でおいしい水の安定供給を図るとともに、より一層効率的な経営に努めていきます。

(1) 年間給水量と一日平均給水量

平成27年度の給水量は、年間給水量を1億3,604万1千立方メートル、一日平均給水量を37万1,697立方メートル予定しています。

(2) 主要施策

ア 安全でおいしい水の供給

本施策は、水源からお客さまの蛇口に至るまでの水質管理体制の強化を図るとともに、省エネルギーの推進など環境負荷の低減に配慮した施設整備等に努め、また、ビルやマンション等の貯水槽水道に対しては、直結給水への切替えや貯水槽水道の適正管理を促進するとともに、水道未整備地区へは、給水要望や財政状況等を踏まえた上で、より効率的な水道施設の整備を推進します。

平成27年度は、事業費11億9,218万2千円で、水道水源の保全として水源涵養林の整備等を行うとともに、環境負荷の低減として、省エネルギーの推進や漏水防止調査等を実施します。

また、水質管理体制の強化として水質検査機器、残留塩素計の整備等や、安心な水道の普及促進として水道未整備地区等へ9,321メートルの配水管路の整備等を行う予定です。

イ 基幹施設の更新・改良

本施策は、老朽化が進む府中浄水場の廃止に向けた浄水・配水施設の統廃合、構造物や機械及び電気設備の維持管理効率の向上などによる機能向上、近年の事故履歴や配水管腐食状況等を踏まえた新たな更新計画に基づく配水管路の計画的な更新を推進します。

平成27年度は、事業費69億334万1千円で、取水・浄水・配水施設の更新・改良として施設の統廃合の関連整備や配水池の更新等を行い、また、配水管路の更新として延長26,900メートルの普通铸铁管・ビニル管等の更新を行う予定です。

ウ 災害対策の充実

本施策は、事故や災害が発生した場合においても、水道施設への被害を最小限に抑え、水道水を安定的に供給できるよう、基幹施設や重要管路等の耐震化や配水系統間の連絡などバックアップ機能の強化を図り、万一の断水時に備え、応急給水用資器材の整備等を推進します。

平成27年度は、事業費3億9,391万4千円で、施設の耐震化として主要施設の耐震改修工事及び耐震診断を行うとともに、バックアップ機能の強化として相互連絡管の整備等を行います。

また、応急給水対策の推進として応急給水用資器材の整備を行う予定です。

(3) 収益的収入及び支出

水道事業収益は、260億8,719万3千円を計上し、平成26年度と比較すると7,932万6千円(0.3%)の減少となっており、うち給水収益で206億5,088万4千円を見込んでいます。

一方、水道事業費用は、242億644万円を計上し、平成26年度と比較すると67億6,298万6千円(21.8%)の減少となっており、人件費で50億5,839万7千円、支払利息で17億7,474万6千円を予定しています。

収支差引は18億8,075万3千円となり、消費税計算によって生ずる消費税及び地方消費税資本的収支調整額等3億7,563万1千円を差し引いた純利益は、15億512万2千円を見込んでいます。

ア 収 入

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額	構 成 比	当初予算額	構 成 比	増 △ 減	前年比較
水 道 事 業 収 益 (A)	千円 26,087,193	% 100.0	千円 26,166,519	% 100.0	千円 △ 79,326	% △ 0.3
営 業 収 益	22,387,698	85.8	22,455,646	85.8	△ 67,948	△ 0.3
給 水 収 益	20,650,884	79.1	20,729,405	79.2	△ 78,521	△ 0.4
受 託 工 事 収 益	204,919	0.8	194,471	0.7	10,448	5.4
そ の 他 の 営 業 収 益	1,531,895	5.9	1,531,770	5.9	125	0.0
営 業 外 収 益	3,685,520	14.1	3,636,414	13.9	49,106	1.4
特 別 利 益	13,975	0.1	74,459	0.3	△ 60,484	△ 81.2

イ 支出

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額	構 成 比	当初予算額	構 成 比	増 △ 減	前年比較
水 道 事 業 費 用 (B)	千円 24,206,440	% 100.0	千円 30,969,426	% 100.0	千円 △ 6,762,986	% △ 21.8
営 業 費 用	21,578,634	89.2	27,940,241	90.3	△ 6,361,607	△ 22.8
職 員 給 与 費	5,058,397	20.9	11,589,308	37.4	△ 6,530,911	△ 56.4
受 水 費	2,236,527	9.2	2,185,499	7.1	51,028	2.3
動 力 費	1,202,944	5.0	1,099,450	3.6	103,494	9.4
減 価 償 却 費	8,154,609	33.7	8,041,615	26.0	112,994	1.4
そ の 他	4,926,157	20.4	5,024,369	16.2	△ 98,212	△ 2.0
営 業 外 費 用	2,602,830	10.7	2,688,355	8.6	△ 85,525	△ 3.2
支払利息及び企業債取扱諸費	1,774,746	7.3	1,964,548	6.3	△ 189,802	△ 9.7
そ の 他	828,084	3.4	723,807	2.3	104,277	14.4
特 別 損 失	14,976	0.1	330,830	1.1	△ 315,854	△ 95.5
予 備 費	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
収 支 差 引(C)=(A)-(B)	千円 1,880,753	% -	千円 △ 4,802,907	% -	千円 6,683,660	% 139.2
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額 等 (D)	375,631	-	351,795	-	23,836	6.8
純 損 益 (C)-(D)	1,505,122	-	△ 5,154,702	-	6,659,824	129.2

(4) 資本的収入及び支出

企業債等の資本的収入は、61億8,134万6千円を計上し、平成26年度と比較すると8億4,387万4千円(12.0%)の減少を見込んでいます。

一方、建設改良費等の資本的支出は、148億6,746万2千円を計上し、平成26年度と比較すると9億346万5千円(5.7%)の減少を予定しています。

なお、収支差引で不足する86億8,611万6千円の補填額については、減価償却費等の当年度分損益勘定留保資金等をもって対応することとしています。

この結果、平成27年度の予算規模は、390億7,390万2千円で、平成26年度と比較して76億6,645万1千円(16.4%)の減少となっています。

ア 収入

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額	構 成 比	当初予算額	構 成 比	増 △ 減	前年比較
資 本 的 収 入 (E)	千円 6,181,346	% 41.6	千円 7,025,220	% 44.5	千円 △ 843,874	% △ 12.0
企 業 債	5,134,800	34.5	4,939,900	31.3	194,900	3.9
出 資 金	560,003	3.8	524,169	3.3	35,834	6.8
補 助 金	113,992	0.8	35,466	0.2	78,526	221.4
受 託 建 設 収 入	173,801	1.2	1,288,580	8.2	△ 1,114,779	△ 86.5
工 事 負 担 金	197,310	1.3	196,741	1.3	569	0.3
固 定 資 産 売 却 代 金	1,440	0.0	2,504	0.0	△ 1,064	△ 42.5
貸 付 金 返 還 金	-	0.0	15,000	0.1	△ 15,000	皆減
そ の 他 資 本 的 収 入	-	0.0	22,860	0.1	△ 22,860	皆減
補 填 額 (F)	千円 8,686,116	% 58.4	千円 8,745,707	% 55.5	千円 △ 59,591	% △ 0.7
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	269,252	1.8	234,956	1.5	34,296	14.6
当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	6,313,381	42.5	6,577,283	41.7	△ 263,902	△ 4.0
建 設 改 良 積 立 金	2,103,483	14.1	1,508,522	9.6	594,961	39.4
減 債 積 立 金	-	0.0	424,946	2.7	△ 424,946	皆減
計 (E)+(F)	14,867,462	100.0	15,770,927	100.0	△ 903,465	△ 5.7

イ 支出

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額	構 成 比	当初予算額	構 成 比	増 △ 減	前年比較
資 本 的 支 出 (G)	千円 14,867,462	% 100.0	千円 15,770,927	% 100.0	千円 △ 903,465	% △ 5.7
建設改良費	8,979,660	60.4	9,752,287	61.8	△ 772,627	△ 7.9
第7期拡張費(Ⅲ期)	71,681	0.5	146,539	0.9	△ 74,858	△ 51.1
配水施設整備費	6,947,400	46.7	6,589,999	41.8	357,401	5.4
浄水施設整備費	1,645,489	11.1	1,555,627	9.9	89,862	5.8
受託建設費	167,865	1.1	1,246,410	7.9	△ 1,078,545	△ 86.5
諸設備新設費等	147,225	1.0	213,712	1.3	△ 66,487	△ 31.1
企業債償還金	5,885,174	39.6	6,007,892	38.1	△ 122,718	△ 2.0
補助金返還金	2,628	0.0	10,748	0.1	△ 8,120	△ 75.5
予 算 規 模 (B)+(G)	39,073,902	-	46,740,353	-	△ 7,666,451	△ 16.4

平成26年度第2回広島市下水道事業の業務状況

1 事業の概況

平成26年度における下水道事業の概況は、次のとおりです。

(1) 処理水量等の状況

平成26年度下半期(平成26年10月1日から平成27年3月31日まで)における処理水量は、7,405万5,790立方メートルで、前年度同期の処理水量7,498万3,317立方メートルと比較すると、92万7,527立方メートル(1.2%)の減少となっています。

次に、下水道使用料の徴収対象となる有収水量については、5,895万5,540立方メートルで、前年度同期と比較すると20万8,153立方メートル(0.4%)の減少となっています。

水洗化の状況については、整備地区の拡大と普及促進の結果、水洗化世帯数は49万7,290世帯で、前年度末と比較すると6,303世帯(1.3%)の増加となっています。

また、当期末における処理区域内の水洗化率は、96.8%となっています。

処理水量等の比較

区 分	平成26年度下半期	平成25年度下半期	比 較		
			増 △ 減	増減率 %	
処 理 水 量 (m ³)	74,055,790	74,983,317	△ 927,527	△ 1.2	
一 日 平 均 処 理 水 量 (m ³)	404,676	409,745	△ 5,069	△ 1.2	
有 収 水 量 (m ³)	58,955,540	59,163,693	△ 208,153	△ 0.4	
水 洗 化 の 状 況	処 理 区 域 内 世 帯 数 (A)	513,864	508,578	5,286	1.0
	水 洗 化 世 帯 数 (B)	497,290	490,987	6,303	1.3
	水 洗 化 率 B / A %	96.8	96.5	0.3	-
汚 水 処 理 人 口 普 及 率 %	95.1	94.9	0.2	-	

(注) 各数値は、公共下水道に特定環境保全公共下水道、農業集落排水処理施設及び市営浄化槽分を加えたものである。

(2) 工事の状況

ア 公共下水道整備事業

本年度の事業費は、126億4,763万2,139円です。

下水管きよの布設については、新たに総延長1万9,757メートルを布設して処理区域の拡大及び中心市街地の抜本的な浸水対策に努めました。

ポンプ場整備については、中河内及び勝木第一ポンプ場並びに大州雨水滞水池、旭町雨水滞水管等の建設工事を行うとともに、丹那、旭町ポンプ場等の改良工事を行いました。

水資源再生センター整備については、西部水資源再生センターの増設工事を行うとともに、江波、旭町水資源再

生センター等の改良工事を行いました。

イ 排水設備整備事業

本年度は、事業費2億9,202万3,539円で、他事業との関連による管きよの移設等を総延長228メートル施工するとともに、取付管設置等を行いました。

ウ 都市下水路整備事業

本年度は、事業費22万5,932円で、東区の一部の地区の雨水が流入する府中町の都市下水路の整備事業に対する負担金を支払いました。

エ 流域下水道整備事業

本年度は、事業費4,794万1,600円で、広島県が施行する太田川流域下水道整備事業に対する負担金を支払いました。

オ 市街化区域外汚水処理施設整備事業

本年度の事業費は、14億6,675万4,647円です。

特定環境保全公共下水道整備として沼田,五日市,瀬野,安佐地区等の下水管きょを新たに総延長8,885メートル布設するとともに,中河内,魚切,勝木第一及び飯室第一ポンプ場の建設工事を行いました。

農業集落排水処理施設整備として,戸山地区で,管きょを新たに総延長2,601メートル布設しました。

市営浄化槽整備として,浄化槽12か所の整備を行いました。

2 経理の状況

平成26年度の経理の状況は,次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

収益的収支予算の執行状況

(収入)

区 分	平成26年度		執行率	平成25年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決算額			増△減	増減率
下 水 道 事 業 収 益	円 48,931,674,000	円 47,609,655,456	% 97.3	円 37,791,767,275	円 9,817,888,181	% 26.0
営 業 収 益	38,332,730,000	37,780,601,902	98.6	37,019,221,773	761,380,129	2.1
下 水 道 使 用 料	21,873,642,000	21,468,166,054	98.1	21,375,052,123	93,113,931	0.4
一 般 会 計 負 担 金	16,454,904,000	16,310,530,949	99.1	15,642,149,344	668,381,605	4.3
そ の 他 営 業 収 益	4,184,000	1,904,899	45.5	2,020,306	△ 115,407	△ 5.7
営 業 外 収 益	10,596,992,000	9,700,269,187	91.5	601,494,740	9,098,774,447	1,512.7
受 取 利 息	1,081,000	1,900,877	175.8	1,480,727	420,150	28.4
負 担 金	166,923,000	169,970,781	101.8	180,487,849	△ 10,517,068	△ 5.8
一 般 会 計 補 助 金	402,898,000	433,373,998	107.6	393,523,157	39,850,841	10.1
長 期 前 受 金 戻 入	9,617,181,000	9,032,097,311	93.9	0	9,032,097,311	皆増
雑 収 益	21,043,000	25,465,020	121.0	26,003,007	△ 537,987	△ 2.1
国 庫 補 助 金	387,866,000	37,461,200	9.7	0	37,461,200	皆増
特 別 利 益	1,952,000	128,784,367	6,597.6	171,050,762	△ 42,266,395	△ 24.7
固 定 資 産 売 却 益	0	22,784,763	-	0	22,784,763	皆増
過 年 度 損 益 修 正 益	799,000	104,745,780	13,109.6	170,912,162	△ 66,166,382	△ 38.7
そ の 他 特 別 利 益	1,153,000	1,253,824	108.7	138,600	1,115,224	804.6

(支出)

区 分	平成26年度		執行率	平成25年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決算額			増△減	増減率
下 水 道 事 業 費 用	円 48,285,127,000	円 46,682,850,565	% 96.7	円 36,379,991,707	円 10,302,858,858	% 28.3
営 業 費 用	37,210,907,000	35,306,279,198	94.9	25,199,732,805	10,106,546,393	40.1
人 件 費	2,666,917,380	2,599,636,219	97.5	2,516,561,911	83,074,308	3.3
動 力 費	679,374,770	670,682,984	98.7	636,893,277	33,789,707	5.3
減 価 償 却 費	25,136,927,000	24,844,579,810	98.8	15,573,829,357	9,270,750,453	59.5
そ の 他	8,727,687,850	7,191,380,185	82.4	6,472,448,260	718,931,925	11.1
営 業 外 費 用	10,915,786,000	10,413,770,351	95.4	10,743,266,031	△ 329,495,680	△ 3.1
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	10,269,680,385	9,870,267,212	96.1	10,386,089,966	△ 515,822,754	△ 5.0
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	644,851,000	542,263,985	84.1	357,174,965	185,089,020	51.8
雑 支 出	1,254,615	1,239,154	98.8	1,100	1,238,054	112,550.4
特 別 損 失	148,434,000	962,801,016	648.6	436,992,871	525,808,145	120.3
予 備 費	10,000,000	0	0.0	0	0	-

本年度の収益的収入は,476億965万5,456円で前年度と比較すると,98億1,788万8,181円(26.0%)の増加となっています。

この主な理由は,長期前受金戻入が増加したことによるものです。

次に,収益的支出は,466億8,285万565円で前年度と比較すると,103億285万8,858円(28.3%)の増加となっています。

この主な理由は,減価償却費が増加したことによるものです。

なお,収益的収入と収益的支出の差引き9億2,680万4,891円から消費税及び地方消費税資本的収支調整額を除いた純利益は,3億9,516万4,596円となっています。

(2) 資本的収支の状況

本年度の資本的収入は、350億7,670万7,445円で前年度と比較すると、5億3,297万8,729円(1.5%)の増加となっています。

この主な理由は、借換債が増加したことによるものです。

次に、資本的支出は、534億1,630万3,460円で前年度と比較すると、15億4,169万9,435円

(3.0%)の増加となっています。

この主な理由は、企業債償還金が増加したことによるものです。

なお、資本的収入(翌年度繰越充当財源額9,390万円を除く。)が、資本的支出に対して不足する額184億3,349万6,015円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填することとしています。

資本的収支予算の執行状況

(収入)

区 分	平成26年度		執行率	平成25年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決 算 額			増 △ 減	増減率
資 本 的 収 入	円 45,418,437,000	円 35,076,707,445	% 77.2	円 34,543,728,716	円 532,978,729	% 1.5
建設企業債	25,544,100,000	19,501,025,300	76.3	21,261,800,210	△ 1,760,774,910	△ 8.3
借換債	3,941,000,000	3,940,577,360	100.0	799,760,000	3,140,817,360	392.7
一般会計出資金	6,590,744,000	6,111,845,305	92.7	5,750,449,830	361,395,475	6.3
国庫補助金	8,526,300,000	4,801,560,000	56.3	5,859,244,000	△ 1,057,684,000	△ 18.1
工事受託金	98,752,000	89,770,424	90.9	80,941,839	8,828,585	10.9
受益者負担金	54,913,000	42,268,086	77.0	42,591,305	△ 323,219	△ 0.8
受益者分担金	139,793,000	101,082,600	72.3	88,994,281	12,088,319	13.6
工事負担金	375,629,000	384,720,950	102.4	514,165,918	△ 129,444,968	△ 25.2
一般会計借入金	33,211,000	0	0.0	10,885,000	△ 10,885,000	皆減
貸付金回収金	84,489,000	73,563,000	87.1	86,876,000	△ 13,313,000	△ 15.3
固定資産売却代金	29,506,000	30,294,420	102.7	47,988,333	△ 17,693,913	△ 36.9
その他資本的収入	0	0	0.0	32,000	△ 32,000	皆減

(支出)

区 分	平成26年度		執行率	平成25年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決 算 額			増 △ 減	増減率
資 本 的 支 出	円 63,527,315,340	円 53,416,303,460	% 84.1	円 51,874,604,025	円 1,541,699,435	% 3.0
建設改良費	24,696,996,340	14,656,905,454	59.3	16,463,808,270	△ 1,806,902,816	△ 11.0
公共下水道整備費	21,520,032,399	12,647,632,139	58.8	14,225,632,236	△ 1,578,000,097	△ 11.1
受益者負担金業務費	23,734,601	19,413,325	81.8	13,595,039	5,818,286	42.8
排水設備整備費	391,900,340	292,023,539	74.5	491,140,734	△ 199,117,195	△ 40.5
都市下水路整備費	238,000	225,932	94.9	215,482	10,450	4.8
流域下水道整備費	68,396,000	47,941,600	70.1	50,464,057	△ 2,522,457	△ 5.0
諸設備新設改良費	115,340,000	97,414,272	84.5	87,210,954	10,203,318	11.7
建設利息	201,600,000	85,500,000	42.4	119,600,000	△ 34,100,000	△ 28.5
市街化区域外汚水処理施設整備費	2,375,755,000	1,466,754,647	61.7	1,475,949,768	△ 9,195,121	△ 0.6
償還金	38,712,619,000	38,712,617,006	100.0	35,334,804,755	3,377,812,251	9.6
企業債償還金	37,983,906,000	37,983,904,006	100.0	34,606,091,755	3,377,812,251	9.8
企業債償還積立金	728,713,000	728,713,000	100.0	728,713,000	0	0.0
貸付金	117,700,000	46,781,000	39.7	75,991,000	△ 29,210,000	△ 38.4
水洗便所改造資金貸付金	57,359,000	25,279,000	44.1	45,526,000	△ 20,247,000	△ 44.5
し尿浄化槽廃止資金貸付金	60,047,000	21,502,000	35.8	30,465,000	△ 8,963,000	△ 29.4
排水設備改修資金貸付金	294,000	0	0.0	0	0	0.0

3 資産及び企業債の状況

下水道事業の平成27年3月31日現在の資産及び企業債の状況は、次のとおりです。

(1) 資産の状況

ア 固定資産 8,525億3,126万3,751円
イ 流動資産 127億9,608万4,863円

計 8,653億2,734万8,614円

(2) 企業債の状況 4,858億8,526万8,630円

4 平成27年度予算の概要

下水道の整備については、市民のより良い生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るための都市基盤整備の一環として、最重点施策の一つに位置付けており、鋭意これを推進して

いるところで。

下水道の建設には多額の資金を要し、その財源の大半を企業債に依存していることから、企業債の償還費が増大するとともに、処理区域の拡大等により維持管理費も年々増大していますが、本年度も一層計画的、効率的な下水道の整備と維持管理に努めます。

(1) 主要な建設改良事業

ア 公共下水道整備事業

本年度は、140億2,804万5千円の事業費を計上しています。

下水管きよの布設については、牛田、戸坂、青崎、己斐、井口、祇園、安古市、狩留家、可部、矢野地区等で整備を行うこととしています。

ポンプ場については、中河内、勝木第一、尾和ポンプ場等の整備を行うこととしています。

水資源再生センターについては、西部、千田、江波及び旭町水資源再生センターの整備を行うこととしています。

イ 排水設備整備事業

本年度は、事業費2億7,302万1千円で、他事業との関連による管きよの移設及び管きよ施設の適切な維持管理のための改良等を行うこととしています。

ウ 都市下水路整備事業

本年度は、事業費23万8千円で、東区の一部の地区の雨水が流入する府中町の都市下水路整備事業に対し、その費用の一部を負担することとしています。

エ 流域下水道整備事業

本年度は、事業費8,878万7千円で、広島県が施行する太田川流域下水道整備事業に対し、その費用の一部を負担することとしています。

オ 市街化区域外汚水処理施設整備事業

本年度は、18億5,906万8千円の事業費を計上しています。

特定環境保全公共下水道整備として、安佐、瀬野、可部地区等の下水管きよの布設及びポンプ場3か所の整備を行うこととしています。

農業集落排水処理施設整備として、戸山地区の下水管きよの布設及び排水処理施設1か所の整備を行うこととしています。

市営浄化槽整備として、浄化槽30か所の整備を行うこととしています。

(2) 収益的収入及び支出

収益的収支は、下水道使用料等の収益と下水道事業活動に伴い必要となる維持管理費等の費用を計上しています。このうち収入は、下水道使用料215億7,479万6千円を含む総額475億2,118万6千円を見込んでいます。

一方、支出は、維持管理費、企業債利息等により総額468億2,064万円を見込んでいます。

(3) 資本的収入及び支出

資本的収支は、施設の建設及び企業債の元金償還等に係る経費と、これらに必要な国庫補助金、企業債収入等の財源を計上しています。

このうち、建設企業債等の収入総額426億5,409万6千円に対して、公共下水道整備費等の支出総額は609億5,115万9千円となっており、182億9,706万3千円の不足が生ずる見込みですが、この不足分については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金等で補填することとしています。

以上の結果、本年度の当初予算規模は1,077億7,179万9千円となり、前年度当初予算に比較して38億7,642万6千円(3.7%)の増加となっています。

(4) 予算性質別比較表

ア 収益的収入及び支出

(収入)

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増△減	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
下 水 道 事 業 収 益 (A)	47,521,186	100.0	48,531,028	100.0	△ 1,009,842	△ 2.1
営 業 収 益	37,598,898	79.1	38,319,950	79.0	△ 721,052	△ 1.9
下 水 道 使 用 料	21,574,796	45.4	21,873,642	45.1	△ 298,846	△ 1.4
一 般 会 計 負 担 金	16,019,281	33.7	16,442,124	33.9	△ 422,843	△ 2.6
そ の 他 営 業 収 益	4,821	0.0	4,184	0.0	637	15.2
営 業 外 収 益	9,921,489	20.9	10,209,126	21.0	△ 287,637	△ 2.8
受 取 利 息	1,045	0.0	1,081	0.0	△ 36	△ 3.3
負 担 金	152,044	0.3	166,923	0.4	△ 14,879	△ 8.9
一 般 会 計 補 助 金	415,480	0.9	402,898	0.8	12,582	3.1
長 期 前 受 金 戻 入	9,337,102	19.6	9,617,181	19.8	△ 280,079	△ 2.9
雑 収 益	15,818	0.0	21,043	0.0	△ 5,225	△ 24.8
特 別 利 益	799	0.0	1,952	0.0	△ 1,153	△ 59.1
過 年 度 損 益 修 正 益	799	0.0	799	0.0	0	0.0
そ の 他 特 別 利 益	0	0.0	1,153	0.0	△ 1,153	皆減

(支出)

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増△減	増減率
下 水 道 事 業 費 用 (B)	千円 46,820,640	% 100.0	千円 47,582,885	% 100.0	千円 △ 762,245	% △ 1.6
営 業 費 用	36,431,642	77.9	36,498,665	76.7	△ 67,023	△ 0.2
人 件 費	2,669,857	5.8	2,724,925	5.7	△ 55,068	△ 2.0
委 託 費	4,396,557	9.4	4,380,141	9.2	16,416	0.4
維 持 補 修 費	997,805	2.1	930,857	2.0	66,948	7.2
動 力 費	663,664	1.4	647,129	1.4	16,535	2.6
薬 品 費	94,116	0.2	101,130	0.2	△ 7,014	△ 6.9
物 件 費 そ の 他	1,495,394	3.2	1,571,497	3.3	△ 76,103	△ 4.8
減 価 償 却 費	25,277,414	54.0	25,136,927	52.8	140,487	0.6
資 産 減 耗 費	836,835	1.8	1,006,059	2.1	△ 169,224	△ 16.8
営 業 外 費 用	10,353,818	22.1	10,915,786	23.0	△ 561,968	△ 5.1
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	9,702,229	20.7	10,270,912	21.6	△ 568,683	△ 5.5
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	651,579	1.4	644,851	1.4	6,728	1.0
雑 支 出	10	0.0	23	0.0	△ 13	△ 56.5
特 別 損 失	15,180	0.0	148,434	0.3	△ 133,254	△ 89.8
予 備 引 費	20,000	0.0	20,000	0.0	0	0.0
収 支 差 引 (A) - (B)	700,546	-	948,143	-	△ 247,597	△ 26.1

イ 資本的收入及び支出

(収入)

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増△減	増減率
資 本 的 収 入	千円 42,654,096	% 70.0	千円 38,299,266	% 68.0	千円 4,354,830	% 11.4
建 設 企 業 債	19,803,600	32.4	20,939,200	37.2	△ 1,135,600	△ 5.4
借 換 債	9,568,400	15.7	3,941,000	7.0	5,627,400	142.8
一 般 会 計 出 資 金	6,885,269	11.3	6,582,273	11.7	302,996	4.6
国 庫 補 助 金	5,661,900	9.3	6,020,500	10.6	△ 358,600	△ 6.0
工 事 受 託 金	113,742	0.2	98,752	0.2	14,990	15.2
受 益 者 負 担 金	34,836	0.1	54,913	0.1	△ 20,077	△ 36.6
受 益 者 分 担 金	95,040	0.2	139,793	0.2	△ 44,753	△ 32.0
工 事 負 担 金	364,829	0.6	375,629	0.6	△ 10,800	△ 2.9
一 般 会 計 借 入 金	12,977	0.0	33,211	0.1	△ 20,234	△ 60.9
貸 付 金 回 収 金	78,948	0.1	84,489	0.2	△ 5,541	△ 6.6
土 地 売 却 代 金	34,555	0.1	29,506	0.1	5,049	17.1
補 填 額	18,297,063	30.0	18,013,222	32.0	283,841	1.6
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	538,750	0.9	570,135	1.0	△ 31,385	△ 5.5
当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	16,769,417	27.5	16,512,146	29.3	257,271	1.6
減 債 積 立 金	988,896	1.6	930,941	1.7	57,955	6.2
計 (A)	60,951,159	100.0	56,312,488	100.0	4,638,671	8.2

(支出)

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増△減	増減率
資 本 的 支 出 (B)	千円 60,951,159	% 100.0	千円 56,312,488	% 100.0	千円 4,638,671	% 8.2
建 設 改 良 費	16,517,918	27.1	17,482,169	31.1	△ 964,251	△ 5.5
公 共 下 水 道 整 備 費	14,028,045	23.0	15,013,016	26.7	△ 984,971	△ 6.6
受 益 者 負 担 金 業 務 費	19,361	0.0	22,337	0.0	△ 2,976	△ 13.3
排 水 設 備 整 備 費	273,021	0.5	384,301	0.7	△ 111,280	△ 29.0
都 市 下 水 路 整 備 費	238	0.0	238	0.0	0	0.0
流 域 下 水 道 整 備 費	88,787	0.1	68,396	0.1	20,391	29.8

諸設備新設改良費	110,198	0.2	115,340	0.2	△ 5,142	△ 4.5
建設利息	139,200	0.2	201,600	0.4	△ 62,400	△ 31.0
市街化区域外污水处理施設整備費	1,859,068	3.1	1,676,941	3.0	182,127	10.9
償還金	44,341,316	72.7	38,712,619	68.7	5,628,697	14.5
企業債償還金	43,612,603	71.5	37,983,906	67.4	5,628,697	14.8
企業債償還積立金	728,713	1.2	728,713	1.3	0	0.0
貸付金	91,925	0.2	117,700	0.2	△ 25,775	△ 21.9
水洗便所改造資金貸付金	55,775	0.1	58,905	0.1	△ 3,130	△ 5.3
し尿浄化槽廃止資金貸付金	35,856	0.1	58,501	0.1	△ 22,645	△ 38.7
排水設備改修資金貸付金	294	0.0	294	0.0	0	0.0
収支差引(A)-(B)	0	-	0	-	0	-



平成26年度第2回広島市安芸市民病院事業の業務状況

1 事業の概況

平成26年度下半期(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)における広島市安芸市民病院事業の概況は、次のとおりです。

(1) 患者の利用状況

今期の入院患者の延数は23,233人で、前年同期に比べ25人(0.1%)の増加となりました。
また、外来患者の延数は23,883人で、前年同期に比べ1,986人(9.1%)の増加となりました。

患者数の比較

区分	年度	平成26年度 下半期	平成25年度 下半期	比較	
				増減	率
入院	延数	23,233人	23,208人	25人	0.1%
	一日平均	127.7	127.5	0.2	0.2
外来	延数	23,883	21,897	1,986	9.1
	一日平均	200.7	184.0	16.7	9.1
合計	延数	47,116	45,105	2,011	4.5
	一日平均	328.4	311.5	16.9	5.4

(2) 工事の状況

今期の主な工事の状況は、次表のとおりです。

工事名	本年度施行内容	本年度工事費	着工年月日	完了年月日
外来・緩和ケア棟消防設備設置その他工事実施設計業務	外来・緩和ケア棟消防設備設置その他工事実施設計業務	円 2,455,920	H26.12.16	H27.3.27
小計	計	2,455,920	-	-

(3) 医療機器の整備状況

今期の医療機器の整備状況は、次表のとおりです。

所属	品名	数量	金額
透析室	透析装置システム	1	円 86,400,000
薬剤室	全自動散薬分包機	1	2,624,400
診療技術科	除細動器	1	1,782,000
診療部	一酸化窒素濃度測定器	1	1,069,200
診療技術科	パルスオキシメータチェッカ	1	788,400
医療安全健康管理室	薬用冷蔵庫	2	598,320
リハビリテーション科	平行棒	1	442,800
診療部	車椅子用体重計	1	162,000
合計	計	9	93,867,120

2 経理の状況

平成26年度の予算執行状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

今年度の収益的収入は20億4,517万9,939円で、予算額に対する執行率は100.4%で、前年度決算額に比

べ12.5%の増加となりました。

また、収益的支出は20億4,712万2,384円で、予算額に対する執行率は99.4%で、前年度決算額に比べ7.8%の増加となりました。

収入

区 分	平成 26 年 度			平成 25 年 度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決算見込額	執行率		増	△減
病 院 事 業 収 益 (A)	円 2,037,210,000	円 2,045,179,939	% 100.4	円 1,817,751,607	円 227,428,332	% 12.5
医 業 収 益	1,821,295,000	1,811,253,735	99.4	1,694,049,485	117,204,250	6.9
入 院 収 益	1,294,999,000	1,297,418,274	100.2	1,230,795,068	66,623,206	5.4
外 来 収 益	433,085,000	421,146,366	97.2	370,266,993	50,879,373	13.7
そ の 他 医 業 収 益	93,211,000	92,689,095	99.4	92,987,424	△ 298,329	△ 0.3
医 業 外 収 益	215,914,000	216,049,092	100.1	122,492,318	93,556,774	76.4
特 別 利 益	1,000	17,877,112	-	1,209,804	16,667,308	-

支出

区 分	平成 26 年 度			平成 25 年 度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決算見込額	執行率		増	△減
病 院 事 業 費 (B)	円 2,058,951,000	円 2,047,122,384	% 99.4	円 1,898,760,136	円 148,362,248	% 7.8
医 業 費 用	2,000,398,000	1,992,673,001	99.6	1,857,498,440	135,174,561	7.3
給 与 費	10,801,000	9,812,861	90.9	12,084,860	△ 2,271,999	△ 18.8
経 費	1,889,839,000	1,873,104,750	99.1	1,756,095,735	117,009,015	6.7
そ の 他	99,758,000	109,755,390	110.0	89,317,845	20,437,545	22.9
医 業 外 費 用	40,682,000	39,651,834	97.5	38,745,134	906,700	2.3
特 別 損 失	15,871,000	14,797,549	93.2	2,516,562	12,280,987	488.0
予 備 費	2,000,000	0	-	0	0	-
収支差引 (A) - (B)	△ 21,741,000	△ 1,942,445	8.9	△ 81,008,529	79,066,084	△ 97.6

(2) 資本的収支の状況

今年度の資本的収入は1億9,437万1,099円で、
予算額に対する執行率は61.0%で、前年度決算額に比べ
33.2%の増加となりました。

また、資本的支出は2億2,383万8,483円で、予
算額に対する執行率は65.4%で、前年度決算額に比べ
16.9%の増加となりました。

収入

区 分	平成 26 年 度			平成 25 年 度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決算見込額	執行率		増	△減
資 本 的 収 入 (A)	円 318,738,000	円 194,371,099	% 61.0	円 145,978,309	円 48,392,790	% 33.2
企 業 債	226,000,000	105,000,000	46.5	77,200,000	27,800,000	36.0
負 担 金	92,738,000	89,371,099	96.4	1,434,048	87,937,051	-
出 資 金	-	-	-	67,344,261	△ 67,344,261	皆減
補 填 額 (B)	23,571,800	29,467,384	125.0	45,444,331	△ 15,976,947	△ 35.2
当年度同意済企業債未発行分	0	2,400,000	-	△ 16,600,000	19,000,000	△ 114.5
当年度分消費税及び地方 消費税資本的収支調整額	759,000	2,512,998	331.1	143,330	2,369,668	-
過年度分損益勘定留保資金	22,812,800	24,554,386	107.6	61,901,001	△ 37,346,615	△ 60.3
計 (A) + (B)	342,309,800	223,838,483	65.4	191,422,640	32,415,843	16.9

支出

区 分	平成 26 年 度			平成 25 年 度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決算見込額	執行率		増	△減
資 本 的 支 出	円 342,309,800	円 223,838,483	% 65.4	円 191,422,640	円 32,415,843	% 16.9
建 設 改 良 費	226,086,800	107,616,384	47.6	63,677,059	43,939,325	69.0
改 良 費	129,686,800	12,942,720	10.0	1,954,174	10,988,546	562.3
資 産 購 入 費	96,400,000	94,673,664	98.2	61,722,885	32,950,779	53.4
企 業 債 償 還 金	116,223,000	116,222,099	100.0	127,745,581	△ 11,523,482	△ 9.0

3 資産、企業債及び長期借入金の現在高

平成27年3月31日現在の資産、企業債及び長期借入金の現在高は、次表のとおりです。

区 分		金 額
資産の現在高	固定資産	2,696,456,962
	流動資産	393,559,622
	計	3,090,016,584
企業債の現在高		1,875,953,757
長期借入金の現在高		41,908,733

4 平成27年度予算の概要

平成27年度予算は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

収益的収入は2億6,925万7千円で、前年度当初予算額に比べ1億8,227万6千円(9.7%)増収の見込みとなっています。

内訳は、入院収入として12億8,445万3千円、外来収入として4億2,652万円、特別病室使用料等その他医業収益として9,118万3千円、負担金交付金等医業外収益及び特別利益として2億6,710万1千円を計上しています。

次に、収益的支出は、前年度当初予算額に比べ1億4,851万7千円(7.8%)増加の2億5,723万9千円を計上しています。

内訳は、診療報酬交付金等の経費として18億6,863万4千円、減価償却費等その他の医業費用として1億2,842万4千円、企業債利息等医業外費用として4,043万8千円、特別損失及び予備費として809万円を計上しています。

なお、平成27年度は、収支差引で1,201万8千円の純利益となっています。

収 入

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額 a	構 成 比	当初予算額 b	構 成 比	増△減 a-b	増 減 率
病院事業収益 (A)	千円 2,069,257	% 100.0	千円 1,886,981	% 100.0	千円 182,276	% 9.7
医 業 収 益	1,802,156	87.1	1,671,066	88.6	131,090	7.8
入院収益	1,284,453	62.1	1,218,443	64.6	66,010	5.4
外来収益	426,520	20.6	359,412	19.1	67,108	18.7
その他医業収益	91,183	4.4	93,211	4.9	△ 2,028	△ 2.2
医業外収益	267,100	12.9	215,914	11.4	51,186	23.7
特別利益	1	0.0	1	0.0	0	0.0

支 出

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額 a	構 成 比	当初予算額 b	構 成 比	増△減 a-b	増 減 率
病院事業費 (B)	千円 2,057,239	% 100.0	千円 1,908,722	% 100.0	千円 148,517	% 7.8
医 業 費 用	2,008,711	97.6	1,850,169	97.0	158,542	8.6
給与費	11,653	0.6	10,801	0.6	852	7.9
経費	1,868,634	90.8	1,739,610	91.2	129,024	7.4
その他	128,424	6.2	99,758	5.2	28,666	28.7
医業外費用	40,438	2.0	40,682	2.1	△ 244	△ 0.6
特別損失	3,090	0.2	15,871	0.8	△ 12,781	△ 80.5
予備費	5,000	0.2	2,000	0.1	3,000	150.0
収支差引 (A)-(B)	12,018	-	△ 21,741	-	33,759	△ 155.3

(2) 資本的収支の状況

資本的収入は2億4,300万4千円で、前年度当初予算額に比べ6,533万4千円(21.2%)の減少となっています。

内訳は、建築物改良費等に充てるための企業債1億4,990万円、企業債元金償還金に対する一般会計負担金9,310万4千円となっています。

次に、資本的支出は2億7,952万6千円で、前年度当初予算額に比べ5,229万7千円(15.8%)の減少となっています。

内訳は、設備工事に係る改良費1億2,440万円、医療機器等資産購入費2,550万円、企業債償還金1億2,962万6千円となっています。

収 入

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額 a	構 成 比	当初予算額 b	構 成 比	増△減 a-b	増 減 率
基本的収入 (A)	千円 243,004	% 86.9	千円 308,338	% 92.9	千円 △ 65,334	% △ 21.2
企業債	149,900	53.6	215,600	65.0	△ 65,700	△ 30.5
負担金	93,104	33.3	92,738	27.9	366	0.4
補 填 額 (B)	36,522	13.1	23,485	7.1	13,037	55.5

当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	759	0.3	759	0.2	0	0.0
過年度分損益勘定留保資金	35,763	12.8	22,726	6.9	13,037	57.4
計 (C) = (A) + (B)	279,526	100.0	331,823	100.0	△ 52,297	△ 15.8

支 出

区 分	平成27年度		平成26年度		比 較	
	当初予算額 a	構 成 比	当初予算額 b	構 成 比	増△減 a - b	増 減 率
資 本 的 支 出 (D)	千円 279,526	% 100.0	千円 331,823	% 100.0	千円 △ 52,297	% △ 15.8
建設改良費	149,900	53.6	215,600	65.0	△ 65,700	△ 30.5
改良費	124,400	44.5	119,200	35.9	5,200	4.4
資産購入費	25,500	9.1	96,400	29.1	△ 70,900	△ 73.5
企業債償還金	129,626	46.4	116,223	35.0	13,403	11.5
収 支 差 引 (C) - (D)	0	-	0	-	0	-